

汚さないで下さい

認定調査票(特記事項)

汚さないで下さい

0408

市区町村コード

対象者番号

調査日

年 月 日

- 身体機能・起居動作に関連する項目についての特記事項
 - 1-1 麻痺等の有無、1-2 拘縮の有無、1-3 寝返り、1-4 起き上がり、1-5 座位保持、1-6 両足での立位、1-7 歩行、1-8 立ち上がり、1-9 片足での立位、1-10 洗身、1-11 つめ切り、1-12 視力、1-13 聴力
- 生活機能に関連する項目についての特記事項
 - 2-1 移乗、2-2 移動、2-3 えん下、2-4 食事摂取、2-5 排尿、2-6 排便、2-7 口腔清潔、2-8 洗顔、2-9 整髪、2-10 上衣の着脱、2-11 スポン等の着脱、2-12 外出頻度
- 認知機能に関連する項目についての特記事項
 - 3-1 意思の伝達、3-2 毎日の日課を理解、3-3 生年月日を言う、3-4 短期記憶、3-5 自分の名前を言う、3-6 今の季節を理解、3-7 場所の理解、3-8 徘徊、3-9 外出して戻れない

- 精神・行動障害に関連する項目についての特記事項
 - 4-1 被害的、4-2 作話、4-3 感情が不安定、4-4 昼夜逆転、4-5 同じ話をする、4-6 大声を出す、4-7 介護に抵抗、4-8 落ち着きなし、4-9 一人で出たがる、4-10 収集癖、4-11 物や衣類を壊す、4-12 ひどい物忘れ、4-13 多言・独り笑い、4-14 自分勝手に行動する、4-15 話がまとまらない
- 社会生活への適応
 - 5-1 薬の内服、5-2 集団への不適応
- 特別な医療について
 - 6 特別な医療
- 日常生活自立度に関連する項目についての特記事項
 - 7-1 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)、7-2 認知症高齢者の日常生活自立度

対象者番号、調査日は手書きとなります。

(1-1) 自力では挙上できない状態あり、目的とする確認動作ができない。脳出血発症にて、右上下肢に麻痺、失語症あり。4月26日～リハビリ目的にて転院、治療継続されている。

(1-2) 確認動作の実施は、麻痺症状あるため危険と判断し実施せず、看護師への聞き取りにて判断。拘縮はない。

(1-3) 右上下肢麻痺あり、右側臥位になることはできない。仰臥位、左側臥位にはベット柵に掴まると自力で行なえる。

(1-4) 左手にてベット柵に掴まり、自力で起き上がっている。

(1-5) ベット柵、肘掛等に掴まっていると10分程度の保持はできるとあり。長い時間になると背もたれによりかかることが必要とあり。

(1-6) ベット柵、手すり等に掴まっていると10秒程度の立位保持はできるとあり。

(1-7) 1-1の状態あり、歩行困難、移動には車椅子利用。

(1-8) 車椅子の肘掛、ベット柵等に掴まると自力で立ち上がることができるが、バランスを崩し転倒する恐れあり、移乗には看護師の見守りが行なわれている。

(1-9) 1-1の状態あり、片足保持はできない。

(1-10) リフト浴にて入浴。左手にて手の届く範囲は自力で洗身できるが、手の届かないところは看護師の介助を受けている。

(1-11) 爪切りは持たせていないとあり、看護師介助にて行なわれている。

(1-12) 両眼で見ると二重に見えることあり。確認表にて確認する。

(1-13) 左耳はほとんど聞こえないとあり。右耳側から大きめの声で話しかける必要あり。

(2-1) 1-8と同様の状態あり、掴まると自力で立ち上がり、移乗する危険あることから、看護師見守りのもと行なわれている。

(2-2) 移動には車椅子利用。自力操作行なえる。

(2-5) トイレに行く際はNCにて看護師に付き添いを依頼、移乗行為が不安定であることから、見守りのもと行なわれているが、排泄行為は自力で行なっていることから、1を選択。(2-6同)

(2-7) 左手にて何とか自力で歯磨き行なっている。

(2-8) 看護師が濡れたタオルを手渡すと自力で顔を拭くことができる。

(2-10) 看護師介助にて行なわれているが、協力動作は得られるとあり。(2-11同)

(2-12) 入院以降外出はない。

(3-1) 失語症あり。自分で思っていることと違う言葉が出てくることあり、〇〇ではないですか・・・等と確認する必

各群ごとに1行空けて下さい。

汚さないで下さい

※ 本用紙に収まらない場合は、適宜用紙を追加して下さい

認定調査票(特記事項)

0408

市区町村コード 0 2 2 0 3

対象者番号

□□□□□□□□□□

調査日

□□□□年□□月□□日

- 1. 身体機能・起居動作に関連する項目についての特記事項
1-1 麻痺等の有無、1-2 拘縮の有無、1-3 寝返り、1-4 起き上がり、
1-5 座位保持、1-6 両足での立位、1-7 歩行、1-8 立ち上がり、
1-9 片足での立位、1-10 洗身、1-11 つめ切り、1-12 視力、1-13 聴力

- 2. 生活機能に関連する項目についての特記事項
2-1 移乗、2-2 移動、2-3 えん下、2-4 食事摂取、2-5 排尿、2-6 排便、
2-7 口腔清潔、2-8 洗顔、2-9 整髪、2-10 上衣の着脱、
2-11 スボン等の着脱、2-12 外出頻度

- 3. 認知機能に関連する項目
3-1 意思の伝達、3-2 毎日の生活
3-4 短期記憶、3-5 自分の名前、3-6 住所の理解、3-7 場所の理解、3-8 徘徊、
前頁で書ききれない場合は、続けて次頁に記入できます。

- 4. 精神・行動障害に関連する項目についての特記事項
4-1 被害的、4-2 作話、4-3 感情が不安定、4-4 昼夜逆転、
4-5 同じ話を繰り返す、4-6 大声を出す、4-7 介護に抵抗、4-8 落ち着きなし、
4-9 一人で出たがる、4-10 収集癖、4-11 物や衣類を壊す、
4-12 ひどい物忘れ、4-13 独り言・独り笑い、4-14 自分勝手に行動する、
4-15 話がまとまらない

- 5. 社会生活への適応
5-1 薬の内服、5-2 服薬の管理
5-4 集団への不適応
6 特別な医療について
日常生活自立度に関する項目についての特記事項
7-1 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)、
7-2 認知症高齢者の日常生活自立度

対象者番号、調査日は手書きとなります。

要あることから、状況や内容によって意思伝達できる時とできない時がある。

(5-1) 看護師管理のもと、その都度、薬、水を手渡してもらおうと自力で服用できるとあり。

(5-2) 家族がすべて管理している。

(5-3) 慣れ親しんだ日常生活状況のもとでは意思決定できるが、介護保険の申請や手続き等特別な場合には家族の指示、援助が必要となっている。

(5-5) 毎日の食材は病院側にて一括購入、日用品は家族がすべて購入している。

(5-6) 入院中により、病院側にて調理、準備された食材を提供されている。

(7-1) 1-1の状態あり。移動には車椅子利用。移乗には見守りのもと自力で行なっている。

(7-2) 物忘れ症状はみられないが、服薬、現金管理に介助必要である。